

令和6年第11回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和6年10月16日（水）

2. 場 所 浅口市中央公民館第3会議室

3. 開 会 午前9時00分

4. 閉 会 午前9時55分

5. 出席者 中野留美 高戸崇 藤澤弘幸 佐藤賢次 河野由美子

6. 説明のために出席した者の氏名

教 育 次 長	難波勝敏	教育総務課長	大島永太郎
学校教育課長	池田一成	保育未来課長	平松直美
ひとづくり推進課	佐藤秀志	金光分室長	中嶋利恵
寄島分室長	山本峯廣	学校給食センター所長	安原直子
教育総務課	平井恵美子（事務局）		

7. 傍聴人 なし

8. 議 事

日程1 議事録署名委員について
浅口市教育委員会会議規則第29条により河野委員を指名。
(了承)

日程2 会期について
本日10月16日の1日会期。
(承認)

日程3 議案第36号 準要保護の認定について
※非公開
(学校教育課長)
新規申請分1件、資料により説明。
(教育長)

1 件認定とする。

(承認)

日程 4 諸般の報告について

(教育総務課長)

令和 6 年度市町村教育委員会研究協議会（後期）の参加申し込みの案内について、令和 7 年 1 月 16 日にオンラインにて研究協議会が行われる。参加を希望する場合は 10 月 23 日の午前中までに連絡をお願いする。

(学校教育課長)

10 月 11 日は、美咲町立旭学園の視察研修にご参加頂きありがとうございました。研究会への参加という形での視察であったが、浅口市の教育での参考にできたらと思っている。寄島学園について、10 月 25 日金曜日に寄島中学校で生徒が主体となり、園児・小学生を招いて、閉校イベントを行う。生徒会が中心となり、小学生達も楽しめるようにスタンプラリーやクイズといったことを企画している。午前中はそういった活動を行い、昼は、閉校イベントということで、全員で会食をする時間になっている。

寄島学園にて防災訓練を 11 月 1 日に行う。

令和 6 年度県学力・学習状況調査の概要について、毎年行われている調査だが、今年度の結果が整理できたので報告する。県の学力調査は、県・全国平均と比べ、良い結果が多かった。今年度の浅口市では、全ての学年、実施教科で実施業者が設定した目標値以上の正答率であった。また、小学 3 年算数、中学 1 年英語以外で全国及び県平均を上回っている。全体的な傾向として各校が取り組んできた基礎・基本の徹底や授業改善の成果が表れていると考えられる。「将来の夢や目標を持っていますか」という設問について、小 5 は肯定的な回答が 90% 近くを示している。ただし、小 5 から中 2 にかけて年々減少する傾向が見られる。また、昨年度と比較すると将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が減っている。「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」については、肯定的な回答が 70% 前後を示している。失敗を恐れている児童生徒が、約 30% である。ほめて、認めて、励ます、を大切にすることが必要がある。

令和6年度全国学力・学習状況調査の概要について、小学校の国語は、73.0で県・全国を上回っている。小学校の算数は63.0で県を上回っているが、全国よりは少し低い結果になっている。中学校の国語は、59.0、県と同様の点数、全国を0.9上回っている。数学は53.0で、これもやはり県と同様の点数で全国を上回っている結果である。概ね良い結果と考える。浅口市の平均正答率を全国平均と比較すると、小学生では、国語科で5.3ポイント上回り、算数科では0.4ポイント下回っている。国語科では、基本の徹底や授業改善の成果が大きく表れていると考えている。算数科においては、昨年度の1.5%マイナスから改善が見られるなど、基礎学力の定着が進んでいると考える。中学校では国語科0.9ポイント、数学で0.5ポイント上回った。2教科とも全国平均を上回り、昨年度からの基礎学力の定着に向けた取り組みの成果が表れている。「1時間以上家庭学習を行う児童生徒の割合」について、昨年度と比較すると減少傾向である。しかし、引き続き調査結果を見ると、学力が高い数値を示していることから、1人1台端末の導入により、効率的な学習ができているのではないかと考えている。「自分で計画を立てて勉強している」について肯定的な回答をしている児童生徒の割合が年齢に影響しているのが、気になるところである。学年進行とともにその割合が向上するような取り組みを工夫する必要がある。学校の先生方の授業での取り組みが大きいと思っている。特に、その子に応じた指導を少人数指導、タブレットを使った個々に応じた指導が充実してきていると考えている。そういったあたりは力を入れながら、子どもたちの成長に繋がっていければと思っている。このデータは、今後ホームページに掲載をする予定としている。

(教育長)

学力・学習状況調査の結果について、県内でも成績としては良いという状況であった。取り組みを充実させ、同じように続けていくのがいいかと思う。県が平成24年に、全国で40番位の順位ということがあり、そこからいろんな努力をしながら、上がってきて、全国と同じぐらいという状況になってきている。ただ数値だけではなく、今後、夢や希望を描いて子どもたちが将来に向けて育っていくような方法を県とし

でも模索していき、そういう子どもたちを育てていきたいということであった。一つ面白いのは、家庭学習だが、小学校はしている割合が、減少しているが、県の状況も一緒である。タブレットを使うということもあるし、少し効率的になってきている傾向が見られるというのが分析である。本市もちょっと少なくなっている、効果的に効率的に学習するということで、計画を立ててやっていく。

(教育委員)

学力は去年に比べると、どの教科も伸びている。引き続きやっていって欲しい。

(教育委員)

授業改善で先生方が頑張ってくださっていると思った。その年の結果も大事だが、その学年のカラーであるとか、実態があると思うので、今後もしっかり取り組んで頂きたい。

(教育委員)

全般的に見たら成果が出ていることは非常に良い。楽しみであり、期待もできるが、中学1年生の英語、これは小中一貫教育の中で色々な工夫がされていると思う。英語専科の先生もおり、小中の繋がりがもっと上手く出てくれば、これも改善されるのではと期待する。

(教育委員)

これはあくまでも平均だと思うので、実際にできている子がぐんぐん引っ張っているのか、できていない子ができだして底上げで平均点が上がったのか。やはり平均という言葉だけで一喜一憂してしまうとどうなのかと思う。全体を見た指導等が続けていただきたい。小学校の国語、昨年が1.8から急に6.3に上がっている。4.3上がったというのは、これは何か非常に良い取り組みがあって上がったのか。その辺り何か分析があれば教えて欲しい。

(学校教育課長)

何か特効薬があったわけではないと考えている。日々の授業の中で、力がついた現れだと思っている。国語という教科は文章で考える、それから漢字等あるが、即効性というのは難しい教科だと言われている。分析は十分できてないところではあるが、ポイントとしてはそれぞれの学習で評価関係なく、振り返りで自分の感想や考えを書くことを全ての学校でどの

教科でもやっている。タブレットに打ち込む場合もあれば、ノートに書くこともあるが、そこが一つ大きい要素ではないかと考えている。

(教育長)

各学校でも熟議の会を持っており、地域の方に伝えようとする意欲というものは増している。人に伝えようと思えば、いろんな知識や伝える勉強していくので、国語の力も上がってくるかということもある。

全国学力・学習状況調査は、来年は理科が入る。パソコンで答えていく形になる。その次の令和8年度は英語がプラスになる。これも1人1台端末で行う。令和9年度は全てそうなる。子どもたちが自分たちの持っている力を表現できるようにする必要がある。

寄島学園について、10月25日寄島中学校感謝祭という名前で、中3が中心になり、先ほど言った小学校やこども園を招待することを計画している。

視察研修について、行かれた委員の方からご意見あるか。

(教育委員)

地域学校協働活動に大変力を入れていらっしゃった。推進員が中心となり、学校の教育課程の中に地域の方がしっかり入り込み一緒に協議をし、授業を作っているところを伺った。授業公開は中学校3年生、町と学校が施策の実現に向けて協力し、実際に形にするために本気で子どもと意見交換をしている様子を拝見し、やる気が増すだろうなと思った。

(教育委員)

4年生の英語の授業を参観したが、英語オンリーではなく、日本語が結構使われていた。2年目で軌道に乗ってないのかとは思いますが、英語教育に力を入れとるという観点からすれば、授業のやり方もあるし、寄島学園にはそれをうまく取り込んで、英語だけで授業を進められるようなことが、特色作りとしては必要なのではというヒントを得た。

施設設備の関係で、廊下や掲示板で旭学園の良いところをしっかりとPRしていた。外から来られた人に対してだろうと思うが同時に内的にもそういった学校の良さをしっかりと子どもにも伝えていくのが大事なことだと感じた。

(教育委員)

コンパクトな学校で、小学校と中学校合わせて100人弱ぐらいの学校だった。非常に取り組むに当たっては取り組みやすい環境であるように感じた。施設においても多分中学校に小学校が来たのかなと手すり等を見て思った。いろんなところで中学生と小学生が一緒にできるような共有のスペースがたくさんあり、開いたところでしっかりと異学年が交流できる場所を見させてもらった。授業においては、英語を見せてもらったが、ALTの先生はほとんど日本語が喋れないような状況だったので、もっともっとALTの先生が中心になって授業を進められると非常に完全に英語の一世帯という雰囲気になるのかなと感じた。書くよりも、やはり話すことの方が一番子どもたちにとっていいのではないかなというのは感じた。

(保育未来課長)

園訪問の計画について、年2回で6園を訪問する。12月、1月で予定したい。

(ひとづくり推進課)

9月29日に浅口市民体育祭鴨方大会をふるさと鴨方プラザで開催した。14地区中5地区が不参加となり、来年度は開催可否も含めた検討を今後実行委員会で継続して行っていく。浅口市総合文化祭について、今週末、土・日曜日に鴨方・寄島会場で開催する。金光会場はその翌週の26・27日になる。

浅口市中学生英語スピーチコンテストが、10月31日に開催される。

(教育長)

天文フェスタについても説明をお願いします。

(ひとづくり推進課長)

10月26日土曜日に天文博物館、国立天文台、京都大学の清明望遠鏡の3館共催で天文フェスタが開催される。特別公開が京都大学天文台で開催される。天文博物館では、工作のブース、プラネタリウムの特別投影等行う。また会場全体でスタンプラリーを行う。天文台のドームシャッター部分が現在壊れており、取り除く工事を行うため、現在公開に関しては中止になっている。改修工事が始まっている。従来のスライド式で下から上に上がるようなものを今度は横開きの扉がつくというような形での改修になる。年内で工事が終わって、

工事が終わったら望遠鏡の調整が始まる。国立天文台は年明けから観測の再開をする予定で現在話を聞いている。

(金光分室長)

11月18日から25日の日程で市立図書館の3館をシステム更新のための休館とする。休館中はインターネットサービスも停止するため、インターネットからの資料や蔵書の検索や予約等もご利用いただけない状況となる。

また金光さつき図書館は11月2日金光地区のインターネット断線に伴い休館とする。

11月15日から17日の間、定例の蔵書点検を行いますので、この時間中も休館となる。この期間はインターネットでの資料の蔵書検索等はできる。

(寄島分室長)

寄島もやいの体育祭を10月13日に寄島小学校運動場で開催した。小学校、中学校、保護者、地区の方で約800人の参加があった。若干アクシデントがあった。みんなでジャンプという大縄跳びを飛ぶ競技で東安倉地区の方が着手したときに腰を痛め病院に行かれた。公民館保険で対応する。

13日の日曜日から22日までアッケシソウ祭りを行う。期間中はアッケシソウを守る会の会員がガイド等を行う。

浅口市マラソン大会につて、12月8日の日曜日に本大会開催される。9月29日で応募を締め切って、トータルとして1,045人の申し込みがあった。昨年が1,030人だったので若干増えている。増えてはいるが、15歳以上の10キロコースについては、15%ほど減っている。昨年が男女合わせて520人の参加であったが、今年が441人である。参加費等値上げしたことが多少影響したのかなと思っている。予想の範囲内で全体としては増えている。

(学校給食センター所長)

10月の頭に鴨方東小学校トレビスの植え付けをしたというニュースがテレビや新聞でも出たのを見られたかと思うが、この植え付けの前段で9月に総合的な学習の時間に4年生から6年生の15人の子どもがトレビスチームを作っており、生産者の畑が給食センターの近くにあるので見に来た際に給食センターにも寄り、見学通路から調理を見学した。その後トレビスにつての意見交換会をした。この後トレビスがだんだん大き

くなって、料理も考え、献立考えてみたいという話もあったので、給食に取り入れるかどうかというのもあるが、楽しみにしている。

日程5 その他について
特になし。

次回教育委員会議

定例会 令和6年11月20日（水）13時30分から

令和 6 年 11 月 20 日

浅口市教育委員会

教 育 長 中野 留美

委 員 河野 由美子

作成職員 平井 恵美子